

平成 29 年 7 月 28 日

守谷市議会議長 殿

委員長 : 川名 敏子

報告者 : 川名 敏子

都市経済常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	平成 29 年 7 月 18 日(火)	
視察・研修場所	福島県郡山市役所	
視察・研修項目	防災の取り組みについて ① 郡山防災ウェブサイトに行いて ② こおりやま減災プロジェクトについて ③ 情報伝達プロジェクト (SNS, 防災無線) ④ 自主防災組織連合会について 等	
参加者	守谷市側	川名敏子、長谷川伸市、梅木伸治、渡辺秀一、高梨 隆、 神宮栄二、渡辺大士、高橋健一郎交通防災課長、望月理恵
	相手側	議会事務局 伊藤局長、片桐主任 総務部 防災危機管理課 熊田係長
視察・研修目的	近年の異常気象により度重なる自然災害、地震や大火災等から、まちと市民を守るために、行政がより適切な対応が出来る様、具体的な先進事例を学ぶ事を目的とする。	
視察・研修内容	郡山氏総務部防災危機管理課より聞き取り調査及び質疑応答を行った。別紙参照	
視察・研修総括 (今後の取組み等)	郡山市では平成 23 年までは「消防防災課」であったが、東日本大震災後、「防災危機管理課」として地域防災計画を大きく改善している。避難行動のタイムラインや情報伝達手段の多様化、又、「こおりやま減災プロジェクト」は、守谷市がこれから取り組むにあたって、参考になった。	

視察・研修内容

防災の取り組みについて

① 郡山防災ウェブサイト

ここを見ればすべて分かる様にまとめられていて、大変に情報が手に入れやすい。避難所やハザードマップはもとより、気象情報、災害情報、避難情報などが、タイムリーに検索できる。

さらに過去の記録や震災アーカイブを見て、日ごろから危険個所を確認できる。また、消防団の最新情報や団員募集や安否確認ダイヤル・気象庁などにもリンクしていて、大変役立つサイトとなっている。

② こおりやま減災プロジェクト

市民自らが周辺の災害情報等を携帯電話などからウェブサイトへ投稿し、市内の災害発生状況を知ることにより、防災・減災につなげるもの。

平成 27 年 5 月から民間の気象会社“ウェザーニューズ”と協定を締結し、スタートした。画像が送られてくると、位置情報から、現場の住所が表示され、大変に分かりやすい。

③ 情報伝達方法について

ホームページの防災ウェブサイト、防災メールマガジン、ボーノこおりやま Facebook・Twitter、緊急速報メール、伝をガイダンス、コミュニティーFM など、あらゆる手段を使って情報伝達をはかっている。

特筆すべきは、行政区の区長さんたちには、丁寧にファックスも送信して、災害情報を伝えるシステムになっている事。守谷市でも早急に検討すべきである。

④ 自主防災組織連絡会

市内各地区の自主防災組織の代表者等で構成。応急手当普及員講習会や総合防災訓練への参加、防災士養成講座への参加など、市民が主体となって実施している。

市の自主防災組織への支援は、運営費補助（10 万円）、資機材等の貸し出や、防災訓練の時の非常用備蓄品の提供など、きめ細かい配慮がなされている。

市全体の防災意識が高いと感じた。災害に備えた円滑で適切な行動がとれるよう、守谷市においても、行政、市民、企業や関係機関一丸となって取り組む参考となった。